

第5回 桐生市学校規模等適正化川内中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年7月17日(木) 午後2時～午後3時49分

○場 所 桐生市立川内小学校 3階 図書室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化川内中学校区検討委員会】9名

委員長	田村 光市
副委員長	大屋 昌太
委員	塩野 文男
委員	齋藤 慎也
委員	石原 大祐
委員	尾花 和子
委員	福田 康嗣
委員	須永 逸郎
委員	神山 精二

【桐生市教育委員会】10名

《事務局》

教育部長	森 広一
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部学校教育課長	須藤 英隆
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文
教育部教育環境課教育未来係	若井 寿樹
教育部教育環境課教育未来係	四分一 勝

【傍聴者】 7名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 委員長及び副委員長の選出

- ・委員の互選により、委員長に田村光市委員、副委員長に大屋昌太委員を選出。

3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・配布資料の概要について、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、特になし。

4 議 題

(1) 学校統合に関する検討事項について

- ・資料 18 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	ただいまの説明のとおり、本日は、学校統合に関する検討事項について、委員の皆様にご協議をいただきたいと思います。はじめに、事務局の説明内容について、ご質問があれば質疑応答を行い、川内中学校区の方向性について、小学校、中学校の順に、委員の皆様全員のご意見をお聞きしたいと思います。 先ほどお話がありましたように、後日開催予定の地域協議会に、本日いただいた意見を出していきたいと思います。 まず、事務局の説明について、ご質問のある方がおりましたら、挙手をお願いします。説明事項の内容としては、詳細に検討していただいていると思いますが、お気づきの点があれば、お話しいただければと思います。委員、お願いします。
委員	統廃合によって、相生小を校舎として使った場合に、通学等はスクールバスという説明は分かりますが、例えば、保護者が相生小に学習参観や行事のときに車を使うことになると思いますので、駐車場のことについて、どのように考えているのでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	相生小を使う場合、限られた敷地内で、どのぐらいの教室数が必要になるのかということもあります。その辺を踏まえまして、駐車場はどれだけ確保できるかについてなど、施設等を有効的に活用できるように考えてまいりたいと思っております。
事務局 (学校教育課長)	相生小で教頭をしていた時期がございまして、大きな行事では、相生小の敷地内の駐車場では全く足りない状況でした。このため、年度当初に、地域にある企業にお願いをして、駐車場が使えるような状況であれば、お借りす

発 言 者	発 言 内 容
	ることで対応をしていたことがございました。今後、借用する時期や駐車台数も含めて、学校の周りに駐車場がどれぐらい確保できるのかについて、調べていくことになると思います。
議長（委員長）	ありがとうございました。委員、お願いします。
委員	いろいろ説明ありがとうございました。収容可能学級数、スクールバスの必要台数など、ハード面について、本当によくお調べになられていて敬意を払いたいところですが、子供たちの教育をどう行っていくのか、その地区だからこそできる教育内容など、ソフト面については、この案を作るまでに何かご検討されていますか。
議長（委員長）	事務局、お願いします。
事務局 （学校教育課長）	前回の会議でもいろいろお話が出ていましたが、川内地区は本当に豊かな自然があり、歴史もある地域でございます。これらの教育資源を生かして、地域学習を更に充実させるという意味では、川内地区、相生地区の学校が一緒になったときに、一つの地区として教育活動の中に取り入れるような教育課程を編成することは、当然重要になるものと考えております。 具体的な手段については、距離がある場合には、現在も学習するにあたり、スクールバスのない学校については、市で用意するバスを利用して学習に行くような手段をとっております。これからどうやって取り組んでいくのかということについては、検討課題になると思います。地域の子供たちですから、地域の学習を通して、育てていくということはとても重要なことであると考えております。
議長（委員長）	他にございませんか。委員、お願いします。
委員	質問ですが、想定としては、公立の小学校の児童が、そのまま公立の中学校に行くという推計になっているかと思いますが、スクールバスで通うことになってきますと、地元の小学校から地元の中学校という現状の流れだけではなく、私立中学とか近隣の中等教育学校、あるいは他県の私立中学校なども選択肢になってくるように思います。 現状として、桐生市の子供で、私立の中学校に通学している生徒数、あるいは、市外の私立中学校や中等教育学校等に通学している生徒数が、分かれば教えていただきたいと思います。
議長（委員長）	事務局、お願いします。
事務局 （教育環境課長）	地元の公立中学校ではない私立中学校や市外の私立中学校、中等教育学校等に進学している生徒数についてですが、令和6年度は全体で約8パーセント、60名程度の生徒がおります。
議長（委員長）	中学校だけということですか。桐生市内も含めてですか。
事務局 （教育環境課長）	私立中学校と中等教育学校など、桐生市立の学校ではないところに通学している子供たちです。桐生市内の私立に通学している生徒も含めてです。
議長（委員長）	その他に質問等があればお願いします。ないようですので、続きまして、資料18の6ページから7ページをご覧ください、小学校の方向性につい

発 言 者	発 言 内 容
	て、全ての委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。 具体的には、小学校の統合について、ケース¹、ケース²のどちらが良いか、また、別の方法があれば、全委員の皆様から意見をいただければと思いますのでよろしくお願いします。委員、お願いします。
委員	どちらかでないと駄目というか、採決を取るわけですか。
議長(委員長)	採決ではなくて、意見をお聞きしたいと思います。委員、お願いします。
委員	先日、桐生タイムスの記事を読ませていただいた際に、相生小一択という選択肢しかないということを知りました。それについて、いろいろお話ししようかと思っていました。教育委員会から資料の説明をしていただいた内容で、正直納得せざるを得ない部分、例えば、川内小を校舎として使用した場合に、スクールバスの台数などを踏まえると、相生小を校舎として使用する方向が自然なのかとは思いました。ただ、どうしても川内小という教育環境、子供たちが学ぶ川内地区の環境を見捨てられない。こんな良い教育環境で、どうして子供たちが学べないのかという思いが強くあります。結論は出ませんが、今の時点では、そういう考えでいます。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	ケース¹、ケース²を考えると、ケース²は1回目の統合と2回目の統合の間がだいぶ空きすぎていると感じます。恐らく、令和10年度に入学した児童が中学校に上がるまでを想定して、2回の統合経験をさせないための配慮がなされていると思います。そう考えると、相生小と川内小が一緒になったときに、令和14年度から2年間は単学級が生じる見込みであるため、ケース¹の3校統合が望ましいと考えています。 ただ、この3校統合でも気になる点がありまして、令和12年度に川内小に入学してくる児童数が15名となっております。令和13年度に統合となると、相生小と天沼小を合わせると、児童数の見込みが72名となり、約5倍に増えることになります。そう考えると、子供たちが、これだけ大きな環境の変化に順応できるのか、子供たちの心理的な状態が気になるころではあります。 いずれにしても、教育活動の充実ですとか、集団生活の中での人間関係作りの中で、より良い教育環境の確保をしていくには、統合という方向を考えていく必要があると思っています。 場所については、3校の地理的な位置関係ですとか、あるいはスクールバスの必要台数、利用する施設など、総合的に判断したものであると思いますが、川内地区は、非常に自然に恵まれた良い環境ですので、良さを生かした教育課程を考えていく必要があると思っています。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	子供たちにとって、より良い教育環境とは何かを考えたときに、教室の数やスクールバスといったことより、ソフト面が大事であると思っています。今回、教育委員会の提案の中に、教育資源についての内容がなかったので、どうなのかと思いました。

発 言 者	発 言 内 容
	資料 6 の今後の進め方の基本的な考え方として、市教委から 3 点出ていたと思いますが、それに沿って統廃合は進めていかなければならないと思っています。1 点目の「子供にとってより良い教育環境の実現」ですが、その地区だからこそできる特色のある教育というのが大事だと思います。川内小なら何ができるか、相生小なら、天沼小なら何ができるかを洗い出して検討する必要があります。川内地区では、ご存知のとおり、山田川のホタル、千網谷戸遺跡、日本遺産の白瀧神社、桐生うどんの里、自然観察の森、宝徳寺などがあります。その中でも、ホタルの放流活動は相生地区ではできません。その地区でないとできない活動や教育もありますので、洗い出して再検討、比較検討していく必要があると思います。 2 点目の「桐生市全体の将来を見据え、検討、協議を進める」ですが、私は川内も大好きですが、桐生も大好きな人間です。そう考えたときに、小学校も中学校も相生で良いのかということがあると思います。川内地区は、旧市内の中でも 4 番目に大きい地区で、空き家が多く他県他市町村から移住してくる人を受け入れる資源があります。実際に本校でも、他県や他地域からの移住者がいます。市内からも、例えば、相生地区から川内地区を選んで、子供が通学しているという家庭もあります。ですので、この川内地区から学校がなくなると、確実に桐生市の人口は減少し、税収も減収すると思います。桐生市の人口減少にますます拍車がかかると思います。この辺は、企画課などとも連携しながら、どう統廃合を進めたら、桐生市全体の人口減少を食い止めることができるのか考えていく必要があるように思います。 3 点目の「保護者や地域住民の皆様と十分な合意形成を図る」ですが、川内地区から学校がなくなるということに対して、地域住民の皆様から合意が得られるのか疑問です。市の基本方針の中では、小中学校は地域コミュニティの核であると書かれています。本校もよく地域の方が学校に来てくださり、子供たちの教育活動を見ていただいています。例えば、6 年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる「川内に人を集めようプロジェクト」というのがありますが、宝徳寺周辺が大渋滞している中で、お金を川内地区に落とさずに帰るのはもったいないと子供たちが言いまして、「道の駅川内」を作ったら良いのではないかなど、川内の将来を子供も大人も一緒になって考えるような機会もあります。川内地区は、桐生市の人口減少を食い止める可能性を大いに持った地区だと思っています。桐生市全体の将来を考える上でも、この地区から学校をなくすのはもう少し考えて、他の課とも連携しながら、桐生市にとって何が良いのか、子供たちにとっての教育環境について、慎重に考えていく必要があると思います。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	私も川内で生まれて、川内で育ったので、小中も桐生でございます。県外に出たこともあります。県外に出たときには、桐生は良いなとつくづく感じ、それでまた川内に戻ってきたようなところもあります。川内には、素晴らしい点がたくさんあります。何とか学校を残す方法はないかと考えたとき

発 言 者	発 言 内 容
	に、以前、区長さんから地区の各代表が集まった際の懇親会の折に、小中一貫校で残そうというお話がありました。 しかし、その後の町会長会議などで、数年後に川内小は、単学級や複式学級になってしまい、単独で残るのは難しいため、相生中学校区と協議を進めるという意見集約をしたとの説明が前回の検討委員会でありました。 恐らく人口が減少し、急激に少子化が進む状況を考えてのことと感じています。確かに、より良い教育環境を進めるには、少子化が進みすぎて地元としても非常に考えるべきことはあると思います。先ほど、市のご説明にありましたように、できるだけ川内の良いところを教育に取り入れていくという説明をお聞きし安心しましたが、そのように進めていただきたいと思います。川内には、文化遺産とか自然の魅力もありますので、そういうことも考慮して、慎重に考えていく必要があると思います。 前回の検討委員会では、多数の方が傍聴に来られ、何とか学校を残していただきたいような声が聞かれました。しかし、未来のある子供たちを良い環境で育てていくことが一番大事なことでないかと感じていまして、今後も、相生中学校区との話し合いの中で、できるだけ川内地区の魅力を取り入れた教育を進めていっていただければと思っております。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	私は、川内南小、川内北小の統合の際にも、委員として参加させていただいております。前回と今回の適正化には、大きな違いがあると実感しております。一つは川内北小、川内南小が統合するときには、皆さんが地域を守りたい、地元の小学校を残したいという利己的なところもあったように思います。 今回の統合については、少し違うと思っております。その一つといたしまして、校長先生がおっしゃってくださった言葉にことごとくうなずくことばかりでした。小学校、中学校で挨拶運動をさせていただいておりますが、地域の方が快く場所や駐車場を提供してくださり、子供や孫がいなくても協力していただける地域であると、そのたびに実感しております。そして、現状、不登校の児童生徒が全国的に多いのは承知しておりますが、川内地区でもそうですし、恐らく相生地区でもそうだと思います。ですから、統合されることによって、子供たちが一層学校に行きづらくなるということも容易に予想できます。川内地区にこだわっているわけではなくて、桐生市全体で考えた場合にも、山田川のホタルは素晴らしいと思います。地域の方たちが餌をやり、見守り育ててくださいました。しかし、これが街中に行ったらすぐ近くに川があるでしょうか、窓から山が見えるでしょうか。子供たちの心の安らぎというのは大きな自然の中で、情操教育も育まれていくものではないでしょうか。 子供を一番に考えてくださる教育委員会であれば、何が一番かと考えれば、確かにハード面は大事ですが、それ以前に大事なのは子供の成長、素晴らしい桐生っ子、素晴らしい日本人を育てていくために、心豊かな子供たちの教

発 言 者	発 言 内 容
	育を守ってあげることではないでしょうか。環境を守ってあげることではないでしょうか。読み聞かせボランティアに参加させていただいて、相生幼稚園をはじめ、他の幼稚園を訪問させていただいておりますが、駐車している車が多く、どこに置こうか迷うようなことがよくありました。近くには線路もあります。そう思うと、よかったらどうぞと言ってくれたり、見守ってくれたりする人がいる川内の環境も、検討の一つの材料にいただけないものでしょうか。僭越ですが、以上のように考えます。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	議題がケース①、ケース②、それ以外でということでしたが、ケース①、ケース②にしても、駐車場などの問題があります。特別な行事だけではなく、恐らく川内地区から行くとすれば、日常の問題になってくと思います。川内は、非常に広い地区ですので、相生小の近くまで自家用車で行くということがありえます。また、児童が通学するためにスクールバスが出るにしても、改善していただかないと、恐らく厳しいところがあります。ただ、昨年度も申し上げましたが、統合ありきで学校がなくなってしまうことに対しては、懸念を感じております。最初のご質問に対しては、ケース①、ケース②にせよ懸念はあるということです。個人的な思い、あるいは保育園の代表としての立場からすると、例えば、川内地区に小学校がなくなってしまうときに、川内地区の保育園に預けることが、非常に厳しくなってくるわけです。小学校や中学校がなくなるといことは、地域として大きな問題があるということ、保育園長とも話をした上で、代表として伝えなければいけないと思ひ会議に出席しています。さらに、地域性の問題がいくつかありましたが、これまでの委員さんがおっしゃったとおりです。 一方で地理的なことを考えますと、川内地区というのは他の地区と違い小倉峠、相川橋、高津戸の三つのルートがなくなってしまうと孤立してしまいます。名前のとおり川の内側ですけれども、すごく閉ざされた隔離された地域で、小学校、中学校がなくなってしまうと、この地域にある公共施設は、恐らく公民館だけになってしまいます。そういった地域になったときに、私もこの川内で育ってきましたが、この地で子供を育てようとかあるいは家族と暮らそうと思ったとき、果たして小学校、中学校、保育園がなくなったとき、スーパーも厳しい状況にあるなか、幸いにも医療機関はありますが、子育てするのにふさわしい場所なのか。先ほどもありましたが、今後、人口減少が進む中、子供を育てようというご家庭が果たしてこれから出てくるのか。あるいは、この地域に小学校、中学校がなくなってしまうことによって、どんどん衰退してしまう懸念があるのではないかとということです。 一方で、この地域の良さというのは先ほどから発言があるとおり、守っていきたいというところもあります。規模の適正化という教育委員会の示すところも、もっともだということもありますので、ジレンマ状態にあるというのが正直なところで、それを伝えさせていただいて、意見ということではありませんが、よろしくお願いします。

発 言 者	発 言 内 容
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	皆さんの意見を聞いて、これは非常に重要な問題で、悩ましい問題ということを感じました。個人的なことからいえば、私は川内で育って、川内に住んでいます。現状は、川内だけの問題というか、桐生の問題、国全体の問題だと思いますが、少子化は待ったなしの状況です。川内に学校がないと考えると、今後、子育ての世代は、まず移り住んで来ないので、何か手はないのかと感じるところです。一般的に、実際に机上の考え方でいけば、ケース[1]と[2]になるのですが、桐生が生き残っていくには、川内を捨ててしまったら桐生の良さがなくなってしまうのではないかと感じています。川内、梅田、菱とか自然が多いところは、どうしても人口的には減少してしましますが、環境としてはすごく良いので、環境を生かす方法を考えれば、まだ何とかなるのではないかと感じています。逆に環境を生かさないと、ケース[1]、ケース[2]を選択した場合、20年、25年は適正規模かもしれませんが、その先はどうなるか分かりません。桐生の必要がなくて、太田、伊勢崎、更に東京に近い方に集中する可能性はもちろんあります。桐生がもう50年、それ以上先を見越したら、今、相生中学校区と統合すると、25年ぐらいは解決できるかもしれませんが、その先は厳しいと思います。都市にはない緑がたくさんある環境で、遠足とか非常に魅力的ですし、そういう魅力を打ち出して、桐生市として何か案を打ち出さないといけないのではないかと感じているところです。個人的には、未来を考えたら、ケース[1]、ケース[2]ですけれども、これを選択したら、その先はないという感じがしています。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	皆さんの意見を聞いて、全て納得できます。例えば、川内地区はホテル、自然環境、重要文化財などたくさんありますので、とても良い地区だということは、47年間ここで生まれて育っていますので十分承知しています。 ただ、相生地区のことはよく分からないことも多いので、相生地区のことをもっと知る良い機会になるかもしれませんし、川内地区の人が相生地区の良いところに気づくということもあります。それぞれいろいろな意見がありましたが、本当にどちらもあるということが一番感じました。利便性をとっても、川内地区から相生中学校区の小学校へ通学する場合、相生小は真ん中にあるので、合理的ではあります。相生地区の方が、仮に川内地区に来るとなれば、恐らく職場が川内になることはないと思いますので、相生地区の方からすれば、逆に大変な思いがするというので、合理性だけを求めれば、学校の組合せについては、統合が1回で済むケース[1]が良いのかと思います。 統合時期に関しても、資料18にあるとおりで、合理的であると思いますが、自分の意見としてはジレンマが多くて、何が良いのか正直分からないというのが一番の意見です。 一学年1クラスしかないのが良いか悪いかということも同じで、人間関係が固定化されて良い面もあれば、逆にいろいろな性格や特技を持っている友達のことを知らないとか、少し見分が狭まったり、児童数とか増えることで

発 言 者	発 言 内 容
	いろいろな友人関係の揉め事が増えたりとか、心理的なストレスがかかって学校に行きづらくなったりすることも考えられるので、本当にどちらも良し悪しがあります。 また、総合的な学習の授業など、相生地区だけに特化しないで、川内地区の自然豊かな環境を生かしてほしいと思います。川内地区に学校が残るか残らないかは別として、今後も、川内の魅力を伝えていけたらと個人的には思っています。もし統合になるにしても、相生地区の子供が川内地区に遊びに来て、川内地区にある魅力に気づいて、その子供が大人になったときに川内地区に住むという可能性もあると思います。 ただ、学校の統合に関しては、合理的なことと言えば、ケース¹が良いのかと思っています。
議長(委員長)	皆さん、大変ありがとうございました。この中から方向性を決めるというのは非常に難しいとは思いますが、まず、それぞれの委員の提案意見に対して、ご質問はありますか。委員、お願いします。
委員	委員がおっしゃった「机上だけではなく」というご発言でひらめいたのですが、机上で議論するよりは、実際にその学校の周辺を歩いてみるとか、例えば、川内の皆さんも相生小や天沼小の周辺を歩いてみて、逆に相生小、天沼小の皆さんも川内小の周りを歩いていただいて、実際に、どのような教育ができるか体験して考えるということも大事なことがあるかと思います。机上だけでは分からないそれぞれの魅力が、まだ十分に吸い上げられていない状況ですから、そういうことが大事なことがあるかなと思いました。 それから、委員が言ってくださった地域の協力体制は、本当に素晴らしいと思います。ホタルの放流で猪対策のやり方ですとか、うどん作りとか、本当に素晴らしいものがあります。相生小、天沼小にもあると思いますので、そういう地域の協力体制を並べて検討していく必要もあるのではないかと思います。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	ホタルの関係については、今、2グループが活動しています。代表の方の年齢はもう80歳ぐらいですが、一生懸命ずっとやっています。区の方でも何か補助を考えているのでしょうか。 また、川内町5丁目3町会の白瀧神社の神楽をやっている人は12名です。話を聞きますと15名は必要ということです。いくらか若い人も入っているみたいですが、高齢になっているようですので、これを引き継ぐことも非常に大変な状況に追い込まれています。今は、ホタル、神楽、遺跡がありますが、長く継続していく方法を区としても応援するような体制でないと、今は確かに素晴らしいですけども、この先誰が引き継いでいくのか課題です。 ホタルの代表者の方は、小学校には自分の方で協力すると言っていますけれども、周りがどういう形で援助して継げるかどうか、それから、空き家対策もそうですが、川内地区には、今すぐ入れる空き家は何件ぐらいあるのでしょうか。あとは直せば入れるようなことも分析してあるのでしょ

発 言 者	発 言 内 容
	うか。その辺の分析もしながら、区を挙げて何をしなければいけないかというように、良い機会ですので考え直す必要があるのではないかと思います。また、多くの方からいろいろなご意見を聞くことも必要です。場合によってはアンケートを取っても良いのではないかと。川内地区を良くするには、学校の統廃合についてもそうですが、いろいろな考えを多くの方が吸収するのも一つの方法ではないかと思います。川内地区の良いものを守るためにも、そういう形で何とか努力していただきたいと思います。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	校長先生がおっしゃったように、他の学校の環境も見ておく必要があると思います。川内が良い川内が良いではなくて、相生を見て川内の方が良いかどうか、逆に相生中学校区の委員の方にも、同じように川内の環境を見ていただくのは、とても大事なことだと感じました。
議長（委員長）	いろいろなご意見、ありがとうございます。まず、小学校の方向性を決めたいと思います。今まで伺っている範囲ですと、結論は無理かという認識をしました。ただし、何名かの委員がお話した、隣の地区を見ることも大事であるということから、ケース①ケース②、プラスアルファを含めて相生中学校区と協議する形で進めていきたいと思います。 皆さんの意見をまとめると、小学校については、ケース①、ケース②も含めて、引き続き、方向性について検討すべきという意見があったことを報告したいと思います。よろしいでしょうか。挙手か、拍手でお願いしたいと思います。
委員	【拍 手】
議長（委員長）	ありがとうございます。 続きまして、中学校の方向性について、また同じように、皆さんの意見をお聞かせいただきたいと思います。資料 18 の 8 ページを参考に、また順番でお願いします。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	先ほどの延長線になると思いますが、教育委員会の方も恐らく川内地区は、現在他の桐生市の統廃合で考えているところと、少し違うイメージをお持ちだと思います。逆に、桐生市として、川内の魅力を伝えるためにバックアップしていただいて、一個人が川内を好きだから残したいと言っているだけではなくて、桐生市の資源の一つとして、子供たちのより良い教育環境がどのようにできるかということを、統廃合ありきという方向ではなく、打ち出していいただければと思います。 私は、元々小中一貫校という形を推奨していた立場でもあったので、またその話に戻るわけではないですが、そういったことも視野に入れていかないと、川内地区に学校は残らないと、今日改めて感じたところでございます。答えにはなっていないと思いますが、一応私の意見といたします。
議長（委員長）	委員、お願いします。

発 言 者	発 言 内 容
委員	中学生は、大人に近づいて思春期を迎える時期になるので、心も体も不安定になったり、葛藤したりすることがたくさんあります。例えば、学習のことで悩んだり、特に、友人関係で悩んだりする生徒が、実際に本校にもおります。そういった生徒を何とか救っていくための対策の一つとしては、クラス替えが考えられますが、現在本校は、一学年 2 クラスしかなくて、なかなか環境を変えることが難しい状況です。良い関係ができていれば、それはそれで良いのですが、大人もそうですが好きとか嫌いとかというわけではないのですが、なかなかうまくいかないという生徒はおります。 そう考えると、これから川内中が単独で残った場合に、いただいた資料の中から単学級になる年度が分かります。単学級というのは、今までの経験の中ではメリットはもちろんありますが、課題の方が多いと考えています。どうしても、クラスを増やしていくことを考えると、個人的には統合が望ましいと思っています。クラスが増えれば、友人関係で悩んでいる生徒の環境を変えることもできますし、もちろん教員が増えますので、教育活動もより充実しますし、先生方の普段の事務も含めて、業務の負担軽減にも繋がると思っています。 場所については、相生小と同じ条件で、教育委員会から示されているかと思いますが、これはこれで理解はしていますが、川内地区に長く住まわれた方の思いは否定しません。理解はしたいと思いますが、全体を見ての教育委員会の提案ということですので、それはそれで私は理解したいと思っています。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	中学生は、将来の適性を探る時期だと思いますので、学校の中に各教科の専門の先生がいないと、将来進む分野が限られてしまう可能性もあるのではないかと思います。部活動の数もそうですので、中学校につきましては統合した方が良いと思っています。 ただし、先ほども申し上げましたが、桐生市の未来のためにも、この川内地区から学校はなくさない方が良くと思いますので、どちらかは残していただきたい。小学校の学習内容からして、私としては、小学校は川内小、中学校は相生中が望ましいと考えます。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	先ほど両校長先生がおっしゃったように、子供を育てる上では、中学校も子供たちの人数が課題で、単学級が令和 12 年度からになってしまいます。人数も令和 13 年度から先は一気に少なくなってきます。そういうような状況を考えると、中学校の場合は、相生中と一緒になった方が、良いのではないかなという感じがいたします。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	統合が望ましいと思います。中学生は、専門教科の先生がいなければならないですが、単学級になるとそれは難しいということを前回の会議のときに

発 言 者	発 言 内 容
	ご説明いただきました。部活動の面でも、現状、川内中は人数が本当に少なくなっていて部活も減ってきております。そういった面でも、統合されることによって、改善されていけばと思っております。 ただ、場所については、相生、川内のどちらかから選択となりますと、悩ましく、私個人の意見はまとまりません。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	中学校につきましては、先ほどの委員からもありましたが、統合に関してはやむを得ないところはあるのかと思います。それは、部活動の面や学級数の面でいうところではありますが、せめて川内地区に小学校が残ればと個人的に思っておりますし、そう願っております。 また、最初にご質問し、回答をいただきましたが、私立中学校への進学等を選択できる年代でもあります。桐生市の出生数は 300 名弱ぐらいで、多分 6 分の 1 ぐらいの生徒は、桐生の公立中学校ではない選択肢を選ぶような時代になっていると思いますので、中学校は、小学校とは状況が違っていると個人的には思っております。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	人数に関しましては、統合しかないという状況です。川内小に 4 人の子供がいまして、様々な行事に参加したときに、人数はすごく重要ということを合唱コンクールや運動会などで感じています。そこで感じることは、毎日の学校生活も同じだろうと思います。私は、川内北小出身ですが、その頃はクラス 40 人ぐらいでしたが、その後川内南小と統合して 150 人ぐらい児童がいる時代でしたので、人数がいて盛り上がりました。友達も選べますし、クラス替えもあり、良かったと思います。先ほどの小学校の話もそうですが、人数からすれば相生小となってしまうので、多数決になれば相生小になってしまいます。相生中学校区の方が生徒数は多いわけで、その人たちが川内中学校区に来るのは、難しいのは分かります。 中学校を考えると、自転車通学ができるので、多少遠くても部活動などでも行き来できますから、相生中になるとは思います。 一方で、川内地区に学校を一つ残したいという話もたくさん耳にします。先ほども言いましたように、一つ残すのであればどちらかと言えば、中学校だったら相生地区の中学生は自転車で通学できるので、通学に関しては、逆に残しやすいということもあります。しかし、小学校の時期に、川内の魅力ある地域で育てたいという感覚も非常に強いです。小学校を残したいとなると、人数的にも川内小の児童数の方が少ないわけで、相生小と天沼小の児童数が移動することは、非常に難しいのは承知しています。そう考えると、中学校はもう相生中は致し方ないにしても、難しいのは非常に分かりますが、川内小を残せる方法はないのかというのが思うところで、皆さんがそのような思いでいると思います。 先ほども言いましたが、何もしなければ、桐生はこれからどうなるのだろうと感じています。皆さんで協力して何か手を打たないといけないという思

発 言 者	発 言 内 容
	いがあります。待ったなしの状況であり、先延ばしにできないことを考えると、人数的にはもちろん統合です。しかし、場所に関しては、先ほども皆さんが発言していますが、何か良い方法があれば、それを出して欲しいというのはあります。 それから、川内北小が更地になっていまして、みやま園が建設される予定だと思いますが、例えば、川内北小の跡地であった頃は、地元の高齢の方がグラウンドゴルフをやったり、子供たちが野球をやったり、体育館でバスケットボールやバトミントンなど、そういうことで地域の大人や子供たちが集まる場所でした。もちろんみやま園も重要ですが、更地にしたことによって、野球する子供たちなど運動していた人たちの活動する場所がなくなってしまった。そういうことも含めて、この先、川内の小学校がなくなった場合、その跡地の使い方も重要になってくると感じています。子供たちが学校帰りや夏休みなどに、遊んでいる様子をよく見かけました。桐生は球都と言っていますが、野球をする広い場所がないと子供たちがキャッチボールや遊びができず、特に、川内はそうだと思います。だから、そういうところも含めて、様々な角度から見ないと非常に難しいところがあります。 もちろん先ほども話したように、ケース¹に関する統合しかないと思いますが、その後のことをいろいろ踏まえて決定して欲しいし、この川内地区の未来も桐生の未来に繋がっていくと思いますので、この小学校、中学校の統合は非常に重要だと感じています。軽はずみな発言は、できないと感じています。今回初めて、この会議に参加して、この会議でまとめるというのは、非常に難しいというのが率直な意見であり、感想です。
議長（委員長）	委員、お願いします。
委員	川内地区から学校がなくなるのはとても寂しいですが、桐生にとどまらず全国的に少子化で、保育園の園児数も減少している状況の中、当然中学校の統合は仕方ないのかと思います。 息子が３人野球部でしたが、一番上のときは、川内中だけで野球部として活動できていましたが、次男からは相生中や清流中の他校と一緒に活動するのが当たり前になっていて、他の部活でもそういう状況でした。一緒に練習しましたが、うまくいかない場面もありました。今は、桐生大学付属中が、野球もサッカーも力を入れているので、市の中学校総合体育大会など全く勝てない状況を考えると、早い段階で健全な部活動ができる環境があった方がよいと思います。体育祭や合唱コンクールなども、最近では寂しくて仕方ないので、生徒数が多い方がプラスには働くのかと思います。 統合に関しては、今は川内にいますけど、高校、大学、社会に出ればいろいろな土地に行き、見分を広め、様々な人と交わっていくことになるので、早めに経験しておくに越したことはないのかと思っています。私も実は高校のとき不登校を経験しまして、そのとき助けてくれたのは、親だけではなく、他地域の友達や地元の友達です。地元の横の繋がりも大事にしつつ、統合はやむを得ないのかというところ です。

発 言 者	発 言 内 容
	また、小学生や中学生と話す機会がありまして、多分 50 人ぐらいの子供たちに、学校が一緒だったらどうかと聞くと、みんなあっけらかんとしていて、正直統合について考えていない子や、どうにでもなると言っている子が多かったです。そこまで真剣に考えてないというのはあるかもしれませんが、具体的には、現実味を持って考えてはいないのかとも思いますが、子供たちはたくましいと思うので、統合になったらなったで、保護者や先生方の協力をいただきながら、成長していくだろうとは思っています。 人口のことに関しては、全国的にホテルの里として売り出して、川内にとどまらず、桐生、群馬に広げて人口を増やしていくような活動は、いずれしていきたいと個人的には思っています。
議長（委員長）	ありがとうございました。皆さんの意見を伺うと、中学校については、統合はやむなしということで意見が一致しているように思います。川内中学校区の検討委員会としては、一応ケース①ということになります。ただし、ケース①のままですと、統合は令和 10 年度ですので、少し早いのかなという気もします。 桐生タイムスの記事を見ますと、相生中学校区検討委員会では、準備期間が短いという意見や、小学校と同時の令和 13 年度の統合が良いなど統合時期の再考を促す意見があったようですので、その辺も含めて相生中学校区と協議をして今後の方向づけをしていきたいと思っています。 今までの意見をまとめますと、小学校については継続検討をしていく。ただし、相生中学校区との地域協議会は意見を聞くということで進めていきたいと思っています。それから、中学校については、統合で進めていくということで、相生中学校区との地域協議会では協議していきたいと思っています。そのようなことでよろしいでしょうか。意見がまとまったということで、小学校については引き続き検討、中学校については統合ということでいきたいと思しますので、了解いただければ、挙手をお願いします。
委員	【 挙 手 】
議長（委員長）	ありがとうございます。本日の協議事項は以上となります。長時間ありがとうございました。他に全体を通して何かご意見等あれば挙手していただいて、再度確認ということで進めたいと思います。委員、お願いします。
委員	意見ではありませんが、図書室を出た廊下の先に、昨年度の 6 年生が総合的な学習の時間で制作しました「川内に人を集めようプロジェクト」の提案が掲示してありますので、よかったら見ていってください。
議長（委員長）	ありがとうございました。本日予定しておりました議事は以上になります。ここで議長の任を解かせていただきます。皆さんご協力ありがとうございました。

5 その他

6 閉 会 [終了：午後 3 時 49 分]